

摂津市議会

# 駅前等再開発特別委員会記録

令和6年3月15日

摂津市議会

# 目 次

駅前等再開発特別委員会

3月15日

会議日時、場所、出席委員、説明のため出席した者、出席した議会事務局職員、 審査案件-----	1
開会の宣告-----	2
市長挨拶	
委員会記録署名委員の指名-----	2
議案第1号所管分及び議案第9号所管分の審査-----	2
補足説明（建設部長）	
質疑（南野直司委員、嶋野浩一郎委員、三好義治委員、弘豊委員）	
採決-----	15
閉会の宣告-----	15

## 駅前等再開発特別委員会記録

### 1. 会議日時

令和6年3月15日（金） 午前10時1分 開会  
午前11時8分 閉会

### 1. 場所

第二委員会室

### 1. 出席委員

委員長 塚本 崇 副委員長 弘 豊 委員 南野直司  
委員 三好 義治 委員 嶋野浩一朗

### 1. 欠席委員

なし

### 1. 説明のため出席した者

市長 森山 一正 副市長 福渡 隆  
建設部長 武井 義孝 同部次長 松倉 昌明 都市計画課長 杉山 剛  
連続立体交差推進課長 藤井 芳明 同課参事 大谷 祐介

### 1. 出席した議会事務局職員

事務局次長 大西 健一 同局主査 松木 愛

### 1. 審査案件

議案第1号 令和6年度摂津市一般会計予算所管分  
議案第9号 令和5年度摂津市一般会計補正予算（第10号）所管分

(午前10時1分 開会)

○塚本崇委員長 ただいまから、駅前等再開発特別委員会を開会いたします。

まずは、理事者から挨拶を受けます。

森山市長。

○森山市長 おはようございます。

委員の皆様には、連日の常任委員会に引き続き、本日は特別委員会をお持ちいただきましてありがとうございます。

本日は令和6年度摂津市一般会計予算所管分ほか1件のご審査を賜ります。何とぞ慎重審査の上、ご可決いただきますよう、よろしく願いいたします。

○塚本崇委員長 挨拶が終わりました。本日の委員会記録署名委員は、三好義治委員を指名いたします。

暫時休憩します。

(午前10時2分 休憩)

(午前10時3分 再開)

○塚本崇委員長 再開します。

議案第1号所管分及び、議案第9号所管分の審査を行います。

補足説明を求めます。

武井建設部長。

○武井建設部長 議案第1号、令和6年度摂津市一般会計予算のうち、建設部が所管しております事項につきまして、目を追って主なものについて補足説明をさせていただきます。

まず、歳入でございます。

予算書の38ページです。

款15国庫支出金、項2国庫補助金、目4土木費国庫補助金のうち、千里丘駅西地区再開発事業に係る社会資本整備総合交付金でございます。

48ページです。

款16府支出金、項3委託金、目2土木費委託金のうち、連続立体交差事業委託金

でございます。

58ページです。

款20諸収入、項4雑入、目2雑入のうち千里丘駅西地区再開発事業に係る府営住宅使用料及び電線共同溝建設負担金でございます。

次に歳出でございます。

164ページです。

款7土木費、項4都市計画費、目2街路事業費のうち、阪急京都線連続立体交差事業に係る付替道路工事や権利購入費、166ページ、物件移転等補償費などがございます。

目5再開発事業費は、千里丘駅西地区再開発事業に係る調査計画等委託料です。

168ページ、再開発関連工事や特定建築者補助金などがございます。

以上、建設部の所管いたします予算の内容の補足説明とさせていただきます。

続きまして、議案第9号、令和5年度摂津市一般会計補正予算第10号のうち、建設部が所管しております事項につきまして、目を追って主なものについて補足説明をさせていただきます。

まず歳入でございます。

補正予算書の16ページです。

款15国庫支出金、項2国庫補助金、目5土木費国庫補助金のうち、千里丘駅西地区再開発事業に係る社会資本整備総合交付金を、国からの内示に合わせ補正するものでございます。

22ページ。

款20諸収入、項4雑入、目2雑入のうち千里丘駅西地区再開発事業に係る府営住宅使用料の額確定に伴い補正するものでございます。

次に、歳出でございます。

46ページです。

款7土木費、項4都市計画費、目2街路事業費は、阪急京都線連続立体交差事業に係る旅費の年度末見込額を補正するものでございます。

48ページ。

目5再開発事業費は、千里丘駅西地区再開発事業に係る再開発関連工事などの年度末見込額を補正するものでございます。

以上、建設部の所管いたします補正予算の補足説明とさせていただきます。

○塚本崇委員長 説明が終わり、質疑に入ります。

南野委員。

○南野直司委員 それでは、予算概要から質問させていただきます。

96ページ、98ページになります。

阪急京都線連続立体交差事業についてです。引き続き、用地取得を進め、回線工事に伴う付替道路及び仮設駅前広場の整備を進められます。

一方、JR千里丘駅西地区の再開発につきましては、自由通路及び共同住宅等の建設工事に着手されます。

改めて、両事業の令和6年度の取組の中身について、お聞きします。

以上です。

○塚本崇委員長 答弁を求めます。

藤井課長。

○藤井連続立体交差推進課長 それでは、連続立体交差事業に関する御質問に答弁申し上げます。

令和6年度の中身ですけれども、まず一つ目は、今お示しのあったように、まず用地取得に取り組んでいきます。

現段階では、面積ベースで約60%、権利者の契約ベースでは約70%の進捗はしてございます。

ただ、残るパーセントが低くなってきて

いますけれども、交渉に時間を要したりいろいろな条件面がありますので、しっかりその辺りを交渉して用地取得に努めてまいりたいと思います。

二つ目は、準備工事です。今、仮設駅前広場と床屋の1号線は工事に着手しております。

こちらは来年度も仮設駅前広場を引き続き、しっかりやっています。あと今、駅前のマンションの用地交渉中です。合意が得られましたら、マンションの用地をお借りして道路の付替えを行ったり、阪急電鉄株式会社が予定してございますが、起点の床屋公園のところで工事用の進入路につきまして、一部造成等を進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○塚本崇委員長 杉山課長。

○杉山都市計画課長 千里丘西地区再開発事業に関する御質問にお答えいたします。

令和6年度の内容についてでございます。

まず、工事につきましては解体工事を令和6年9月30日まで延期させていただいたところでございます。このほかに繰越明許費で計上させていただいております内容としまして、解体工事以外の既設の地下埋設物等の撤去工事を実施しております。こちらも繰越しをさせていただいて実施することといたしております。

また電線共同溝の整備も令和6年度に繰越しをさせていただいて、進めてまいります。

そのほかには、委員からお示しがあったとおり、駅舎に接続いたします自由通路の下部工からまず着手してまいりたいと考えております。

工事関係で繰越しや延期で、建築工事の部分に影響が考えられますけれども、建築工事は、まず4月に着手はしてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○塚本崇委員長 南野委員。

○南野直司委員 ありがとうございます。

ホームページにも、連続立体交差事業の仮設駅前広場整備工事の進捗ということで、写真を載せ、詳しく上げていただいています。

引き続き、進捗を定期的に上げていただいたら分かりやすいと思います。矢板設置の完了とか、すごく分かりやすいと思いました。

一方、千里丘西地区もドローンから撮影した写真とかいろいろ埋設物の写真も載せていただいております、定期的に更新していただきたい。

連続立体交差事業の工事は、付替道路に関して庄屋の地下道で、通学路であります。安全対策をしっかりとっていただきたい。

千里丘西地区は、今度、自由通路等工事に入ります。多くの方が駅を利用され、安全対策が一番大事だと思います。今の時点で、安全対策という観点からお聞かせいただきたい。

2回目、以上です。

○塚本崇委員長 藤井課長。

○藤井連続立体交差推進課長 それではまず、連続立体交差事業に関する御質問に答弁申し上げます。

委員がお示しのように、駅前での工事と道路の付替えということで、通行車両も多く、駅前には特に歩行者や駅利用者が多い状況でございます。

昨年度、我々も工事に入る前に、交通量調査をしっかりと行っております。朝と夕方

の時間帯に乗車される方、降りてこられる方々が一体どういう動線を通っているのか。例えば、三島線を横断して香露園のほうに行くとか、そういう状況もしっかり把握しております。

工事にそれを反映させるところと、工事はしっかりガードマンをつけてやります。歩行者動線につきましては、必ず確保しながら安全対策をしっかりとやっていくように、まず現況を見ながら対応していきたいと考えております。

以上でございます。

○塚本崇委員長 杉山課長。

○杉山都市計画課長 それでは千里丘駅西区再開発事業に係ります御質問にお答えいたします。

安全対策につきましては、現在も仮設の歩道を設けまして、歩行者などの駅までの動線を確保しながら進めておるところでございます。

工事の規制等も発生しておるところです。現在、市ホームページの都市計画課のトップに、その規制の状況等を掲載させていただいております、変化していく規制ですとか、歩道部分の情報を周知させていただいているところです。

今後も工事の進捗に合わせて、仮設の歩道も切り替えが生じてまいりたいと思います。逐一、周知を図りながら進めてまいりたいと思います。

また現地は、工事が輻輳するところで、工事車両の進入路に当たる入口部分での安全対策が非常に重要になってくると思います。当然、誘導員も配置することになりますけれども、そういった安全対策をしっかりと行ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○塚本崇委員長 南野委員。

○南野直司委員 分かりました。どうか安全対策をよろしくお願いします。

用地取得関係です。

阪急電車を中心として西側と東側で、パーセントで結構ですので、現時点でどれくらい進んでいるのか。そして令和6年度でどれくらいを目標にされているのか、お聞かせいただきたい。

○塚本崇委員長 藤井課長。

○藤井連続立体交差推進課長 現在は、用地の取得の西側と東側では、まず仮線側の東側につきましては、契約ベースですけれども約90%弱、89%の契約いただいています。

反対側につきましてはちょっと遅れてございますので、約50%、48%の契約をいただいているところでございます。

令和6年度の目標としましては、東側を100%買いたいと思っております。

西側につきましては、やはり一部残るところがございますので、令和7年度にかけて、しっかり引き続き、交渉をやっていきたいと考えております。

○塚本崇委員長 南野委員。

○南野直司委員 分かりました。

一つ一つ丁寧に説明しながら交渉していただいていると思います。引き続き、寄り添う気持ちを持ちながら、真心の対応をよろしくお願いします。

以上です。

○塚本崇委員長 嶋野委員。

○嶋野浩一朗委員 それでは質問させていただきます。

まず、連続立体交差事業です。南野委員が質問をされて、御答弁いただきましたので、用地取得についてはよく分かりました。

現在で大体、面積ベースで約60%、権

利者の契約ベースで約70%であるというようなお話だったと思います。

用地取得に関していろいろと交渉の中で、本当に難しい場面もあったと思います。

併せて、昨今の情勢から、工事全体を考えても、上振れをする状況にあると思っています。

現在の見込みで結構なので、当初から連続立体交差事業に係る全体予算、また摂津市としての持ち出しにかかる予算については、以前からこの委員会でも御説明をいただいていたと思います。

これは私の記憶ですけれども、全体で大体440億円ぐらいで、摂津市として大体、65億円だという話がありました。現在の見込みとして、分かる範囲で、お聞かせをいただきたい。

これから本格的に駅前広場の工事に入っていくと思うんです。

今日、朝の8時半ぐらいに、香露園の交差点の辺りを車で通りました。

そのときに、交差点に警備員の方というか誘導員の方がおられたんです。恐らくこれから始まっていく工事に伴って、工事車両が通行していくことを見通して対応をされていると思っております。

車両の交通の誘導について、どのようにお考えなのか、細かい話になりますけれども、お聞かせいただきたい。よろしく願い申し上げます。

それから、千里丘西地区のところですか。

先ほどの御質問で御答弁いただきましたので、よく分かりました。今、懸念をされているのは、解体がアスベストの関係で延びたこともあり、全体の完成の時期がどうなるのかについて、多くの皆さんが心配されていると思います。

若干のずれがあるとは思っているんで

す。これからはしっかりと摂津市として計画を立ててやっていける段階になったと思っています。現在のスケジュールとしてどのような影響があるとお考えなのかお聞きします。

今回、定例会でも、解体についての増額の規約がありました。これも全体の予算として増えていくと思っているんです。現在の見込みについてもお聞きします。よろしくをお願いします。

○塚本崇委員長 藤井課長。

○藤井連続立体交差推進課長 それでは、連続立体交差事業に関する御質問に答弁申し上げます。

委員がお示しのように、物価高騰で、事業費が上がるという話は大阪府、阪急電鉄株式会社から聞いております。

ただ、今、阪急電鉄株式会社で、工事に関する詳細設計をしておりますので、時期的にはもう少し先の令和8年度か令和9年度ぐらいには詳細設計が固まります。その段階では、ある程度固まった事業費と事業期間が分かってくるかと思えます。

その際には、今おっしゃった432億円とか437億円というのは事業認可額でございますので、認可の変更という手続も必要になってきます。またその際にはしっかり議会に御報告させていただいて、手続を進めていきたいと考えてございます。

2点目の工事に関する車両の安全対策です。

やはり通学路は安全に配慮するように請負業者にしっかり周知することと、車両のスピードを厳守すること、あとは駅前の工事になりますので、よく待機する車両が困るというお声も聴きますので、そういったところを徹底していきたいと思っています。

以上でございます。

○塚本崇委員長 杉山課長。

○杉山都市計画課長 千里丘駅西地区再開発事業に関する御質問にお答えいたします。

まず、完成時期についてでございます。

先ほど、御答弁申し上げましたとおり実施しております工事が延期しております。こちらの影響が考えられるところでございますので、単純に延期した分だけが、工事全体にも影響するという考えもあろうかと思えます。

しかしながら、現時点では、今後、令和8年度末という完成を目指している中で、3年間ございますので、いろいろと調整を行いながら、令和8年度末完成というところは判断としては変えていないというところでございます。

予算についてでございます。

物価高騰の影響がありますので、一般的に大体、建設工事関係は20%ほど上昇しているというところがございます。

そうした影響もございますので、摂津市の実質負担分も増加するというところがございます。

現在、公表しております事業計画の中でお示ししているもののうち、おおむね摂津市の負担額を約38億ないし39億円ぐらいとお示ししておりますけれども、物価高騰の影響を受けまして実質負担額が56億円ぐらいに増加するのではないかと見込んでおります。

以上でございます。

○塚本崇委員長 嶋野委員。

○嶋野浩一朗委員 連続立体交差事業でお聞きします。

現在、全体の事業費、摂津市の持ち出しの分は、まだ分からないと思えます。



詳細設計によって事業期間も決まってくるので、分かった段階でお知らせいただきたい。よろしくをお願いします。

もう一点の安全対策のところですか。今おっしゃっていただいたみたいに車両の通行だけではなくて、待機についてもどこで待機をするのが非常に難しい問題と思うんです。

これから大型車両がどんどん入ってくることを考えると、まずどこかで待機をするところがあると思うので、それをどうさばいていくのが非常に難しい課題だと思うんです。

止めてある車両をみつけて、ここは駄目と言うだけでは、工事をする側からしたらどうしたらええねん、という話にもなるわけです。難しい課題になるかも分からないんです。いろいろな可能性を探っていただいて、市民の皆さんが安全に、混乱なく進んでいくように強くお願いをしておきます。この点は要望として申し上げます。

用地取得についても、先ほどの南野委員の質問で、令和6年度で東側については100%を終える意気込みをお聞かせいただきました。

用地取得はそう簡単に進むものでもないと思うので、本当にいろいろな御苦労があると思っております。

これまでもいろいろな御苦労を重ねていただいてここまで来てるわけです。引き続き、しっかりこの点についても取り組んでいただきたい。要望として申し上げます。

千里丘西地区です。現在の見込みということで、物価高騰の影響が非常に大きいなところだと思います。

ただ、千里丘西地区の再開発については、摂津市にとって、残された非常に大きな取組の一つだと思っています。あの立地を考

えると摂津市だけでなくやはりもっと広い範囲に及ぶ大きな取組だと思います。これも予算がかかることでございますけれども、しっかりと進めていただきたい。

全体で見ると、まずは今年の5月末まででしっかりと移転先が決まったことが非常に大きいと思っていました。恐らく担当課の皆さんも最終的には行政代執行もあると、想像されていたと思うんです。そこがしっかりとクリアできたことは非常に大きなことで、この事業を考えると、大きな山は越えたんだらうと思います。

実際、これからアスベストなんかに対してもしっかりと注意をしながら、最大限の配慮をしながら進めていくわけです。その点はしっかりとやっていただきたい。

今後、摂津市として主体的に取り組んでいけるところになっていくので、令和8年度末の完成に向けて、取り組んでいただきたい。これも要望として申し上げます。

○塚本崇委員長 三好義治委員。

○三好義治委員 それでは数点、確認の意味を兼ねて質問していきます。

まず補正予算書の23ページ、府営住宅使用料39万7,000円の減額補正が組まれています。歳出でも39万6,000円の減額補正が組まれています。

部長の説明で行けば、事業が確定したので減額したという報告を当初、説明を受けました。令和6年度の予算書を見ますと、歳入で府営住宅使用料が、歳出で住宅借上料がそれぞれ37万円組まれているんです。これは借り上げの分だから事業確定というよりも、補正予算で減額ということは、入居予定の人が一定ゼロになって、入居されなくて、令和6年度に改めて入居するかの判断になると思うんです。予算書だけを

見ると。その辺が一体どうなっているのか、お聞かせいただきたい。

それが同一人物ならば、1万6,000円くらい減額になっている。事業確定という意味合いを踏まえたとき、この辺が一体どうなっているのかをお聞かせいただきたい。

それと、千里丘西地区について、予算概要18ページに出ています。金額を申し上げますと、令和6年度、千里丘駅西地区再開発事業でトータル19億6,428万1,000円の予算が計上されているんです。

千里丘西地区は、令和8年度で完成をしていくんです。予算だけの執行率を見ると、令和5年度の中期財政見通しから比較しますと、見通しでは14億5,300万円です。これは令和5年度に出しているやつから、そんなに見込み違いではないと思うんです。

この減額が中期財政見通しよりも増えているのは、繰越金の影響と見とったらいいか、お聞かせいただきたい。

それと、特定建築者補助金14億7,598万7,000円は、令和6年度から工事着手するための補助金だと認識をしているんです。この補助金は、これが総額なのか、これからどうなってくるのかをお聞かせいただきたい。

特定事業者が確定したということで、昨年9月に近隣の皆さんと我々議員もいただいたんですけど、そのときの4社の共同事業企業体で今度、行っていきます。

実際に窓口になっているのは、株式会社キャストです。問い合わせ先、これとの関連性がどうなっているのかをお聞かせいただきたい。工事の進捗状況も含めて。

連続立体交差事業も、長期にわたってこれからいろいろ大変な事業になってくる

と思うんです。ここについては、頑張ってくださいという以外はないんです。ただ、これも市債の発行額が見込み額より大幅に変更になる予定になっています。

この辺、財政方が予算の割振りはしていくと思うんです。補助金については原課が窓口になっているので、補助金が減るがために市債の発行額を増やしていくのかについてお聞かせいただきたい。

以上です。

○塚本崇委員長 答弁を求めます。

杉山課長。

○杉山都市計画課長 それでは、千里丘駅西地区再開発事業に関する質問にお答え申し上げます。

まず、府営住宅に関する入居者の状況についてでございます。

府営住宅の使用につきましては、当初2名を予定しておったところ1名になったということで減額補正をさせていただきました。

引き続き、同一の方がお住まいになられますので、令和6年度も1名で進めてまいります。

次に、中期財政見通しの部分でございますが、増額になっている要因です。やはり先ほど、御答弁申し上げました物価高騰に係る工事費の増額分で考えております。

続きまして、特定建築者補助金についてでございます。

令和6年度に計上しております14億7,598万7,000円は令和6年度分で、令和7年度、令和8年度と建築工事が進んでまいりますので、それぞれの実施分を今後もそれぞれ補助してまいりますこととございます。おおむねですけども、補助金の総額は現時点で約45億円を見込んでおります。

続いて、特定建築者の窓口の件でございます。まちづくりニュース等でお示しております業者は、特定建築者がいろいろと工事であったり委託だったり、別で業者に発注している相手方でございます。

基本的に我々と協議などを行う際の窓口は、特定建築者となります。

いろいろと説明会とかをやっていく中で、業者から直接、御案内を差し上げるということはあろうかと思えます。

以上でございます。

○塚本崇委員長 藤井課長。

○藤井連続立体交差推進課長 それでは、連続立体交差事業に関する御質問に答弁申し上げます。

補助金と市債の関係でございます。

連続立体交差事業の事業費の考え方で。まず、鉄道事業者の負担分がトータル6%というのが決まりでございます。それ以外につきましては、国が55%、府が30%、市が15%の負担と決められてございます。

これがトータルの432億円とか437億円という事業認可額の負担割合になってくるんですけれども、各年度についても、この割合、国が55%、府が30%、市が15%という負担が基本になってございます。

来年度の予算でございますと、連続立体交差事業負担金として市で3億円、上げさせていただいております。

それはトータルの国費対象事業費20億円に対します15%で3億円計上させていただいております。その3億円のうち、こちらは財政課でしているんですけれども、市債で90%充当していると確認しております。

ですから、補助金が低ければ市債が上

るというわけではなくて、基本的にはその割合が決まっております。市の負担分に対して市債を充当しているということでございます。

以上でございます。

○塚本崇委員長 三好義治委員。

○三好義治委員 府営住宅の関係で2名から1名になったことはよく分かりました。

1名の方はもう府営住宅でなしに、民間の賃貸住宅に行かれたんですか。もしくは、移転補償の関係があるので、府営住宅に入居せず、その方は一体どこに行かれて、それに対する移転補償関係はどうなっているのか、お聞かせいただきたい。

府営住宅は最終的に1名だけとなっています。当初はもっと多いと言っていたけど、最終的には、御迷惑がかかってないか確認も含めて、お願いします。

全体予算の関係は、特定事業者に関して、令和6年度、令和7年度、令和8年度で約45億円計上される。

あまりここで財政論議をしても具合が悪いんですけど、中期財政見通しとあまりにも乖離があると思います。

その中で、もともと今年度が14億7,500万円の計画だったのが約19億円まで膨れ上がったんです。要は物価高騰分と言いつつも、調査計画等委託料の関係が補正予算では、1億2,745万1,000円減額されているんです。

令和6年度は約9,400万円と前年度の補正で減額した部分よりも、なおかつ予算が低目に計上されているんです。この関係が一体どうなっているのかをお聞かせいただきたい。

確かに再開発関連工事は、約2億1,300万円、補正予算で減額をされて、当初

予算で3億1,000万円増えています。この部分については、物価高騰と言えんこともないです。トータル的に令和6年度の予算が中期財政見通しよりも増えているのは、今の特定事業者に対する補助部分が極端に増えてきているんじゃないかと感じております。

その辺の関連性を改めて聞かせていただきたい。

これは物価高騰もあれば、万博に対する関係で事業者がそっちに流れ、なかなか事業者の手が回らない、今、民間の需要と供給の関連が出てきており、そこで物すごく資材が高騰してきている背景があるんです。

この関係でいくと、あと1年もしくは1年半ぐらいはそっちに充当され、この千里丘駅西地区再開発事業は本当に計画どおり進むのが心配の種なんです。だからそういうことも含めて確認をしているので、よろしく願いいたします。

連立立体交差化の件は、これから調査にかかりますけど、辛抱強くやっていただきたい。

○塚本崇委員長 杉山課長。

○杉山都市計画課長 それでは、千里丘駅西地区再開発事業についての御質問にお答えいたします。

府営住宅の使用者についてでございますが、当初、予定しておりました2名のうちのお一人の方は府営住宅ではない他の場所へ移転されております。移転に関しまず補償については、市から適切に行っております。

続いて、令和5年度と令和6年度の調査計画等委託料の予算についてでございます。

令和5年度の補正予算で調査計画等委

託料を減額しておりますが、こちらの主な要因としましては、令和5年度当初予算を要求させていただく時点で埋蔵文化財調査の委託料を見込んでおったところがございます。その時点では本調査の範囲が決定しておりませんでしたので、最大限を見込んで予算要求させていただきました。

結果としまして、試掘調査を行ってそれほど範囲が広がらなかったということで、その部分が令和5年度の減額補正の大きな内容になっております。

令和6年度に実施します委託は、これまでやってきたものとは別で実施させていただくものでございます。令和5年度の減額となったものが令和6年度に繰越してやらなければならないといったものではございません。

続いて、予算についてでございます。

お示しのとおり特定事業者への補助金が増えているというところで、その差額分とお考えいただければと思います。

以上でございます。

○塚本崇委員長 三好義治委員。

○三好義治委員 最後にしておきます。特定事業者に対する補助金についてのルールです。大概、何でも物件を契約したときに、見積りをいただきながら確定し、その辺のとり決めをしないで、物価が上がりました。どんどん値上がりしました。市役所で追加してください。こんな話では、とてもじゃないけど承知はできないです。

その辺の一定のルール付けがあるのかどうか確認をさせていただきたい。

それと毎回、言っている大型バスです。この間、代表質問で武井部長が、事業者が乗り入れする予定はないという話をされたんです。

これまで聞いていたのは、このロータリ

一に入れる回転半径が厳しいという話を私は伺って、何とかその部分で、産業道路から今度、道路拡幅するとき、将来的には拡幅してくれと。そのためにこのJR千里丘駅前のロータリーのところに大型バスが停車できるように、できないんかという話に切り替えながらもやっと思ったんです。バス事業者が乗入れする予定がないと言っているのが事実なのか、それともこの工事の関係で無理なのか、事実関係を確認したい。

公共交通の今、全体計画を見直しています。改めて申し上げますと、国循に行くのに確かにJR岸辺駅からは近いけども、あの辺の陸橋を何百メートルも歩いて行く。それよりもJR千里丘駅前が今回、開発されるとエレベーターですぐに下が駐車場になります。

そこから、シャトルバスでも流していかとか、万博にガンバ大阪のスタジアムがあるのに、我々、この千里丘西地区の開発は60年遅れているんです。要は大阪万博のときに、千里丘西地区を玄関口にやって、岸辺豊中線から万博に接続しようかという計画もあったように伺っています。そこを摂津市が断念してきた。

その関係でいえば、今回の工事が絶好のチャンスだと。今28人乗りしか乗り入れができないと言うけども、やっぱり将来的にでも、周辺の道路拡幅をしてでもやるんやと。だからこの部分に大型バスが、シャトルバスが止まるように。現在のこの街区から入るのは非常に厳しいかも分からないけど、産業道路から来るのと、明和池公園から来るような系統でも考えてもらいたい。今、千里丘7丁目、6丁目の方の足の確保も大変です。

だからそういったことの中で、公共交通

計画の見直しもやるのに、バス事業者が乗入れすることは考えていないと、軽率に言い過ぎと違うんかと思います。辛抱強く、市民の足の確保、確かに鳥飼地区は必死になって我々も言っています。この絶好のチャンスを逃して、将来の憂いを買うようなことになったらあかん。この点について改めて御答弁いただきたい。

バス事業者が乗入れする予定がないと明確に言ってきているのか。

ここに何とか将来のために乗入れできるような空地の確保について、改めてお聞かせいただきたい。

○塚本崇委員長 杉山課長。

○杉山都市計画課長 それでは、3回目の御質問にお答えいたします。

まず、特定建築者への補助金のルールについてでございます。

特定建築者を募集する際の募集要項におきまして、社会資本整備総合交付金で定められた限度額以内で補助金の額を提案しなさいということを明記して進めてきました。

その中で、特定建築者から提案があったものが、先ほど申しあげました約45億円の補助金でございます。

この補助金の額についてでございますけれども、公的な積算を特定建築者にさせていただいて、つまり公的ですので、我々が実施する積算と同じ考え方、積算基準でということになりますが、それで積算していただいて、提出してもらい確認をして進めております。

駅前のロータリーについてでございます。

バス事業者へのヒアリングは都市計画決定の前に行っておりまして、その時点で乗入れする予定はないということで聞い

ておりました。都市計画決定の際には、駅前広場の範囲も設定することになりますので、それも踏まえて設定して進めてきておるところでございます。

今後、現計画の中では大型バスが回転できるような大きな駅前のロータリーではなく進めていくことになろうかと思いません。

千里丘駅前線、産業道路から駅前に乗り入れる道路、こちらは都市計画道路でございますので、今後、整備していくことになります。その整備の際に、また状況を見て改築・改良を加えるということも不可能ではないとは思いますが。

ただ、その時点で、公共交通に関しましては市域全体で今後、検討が進められていくと認識しておりますが、その中で、新たな路線が必要になるのかとか、いろいろなことが考えられてくると思います。

そういった状況を踏まえて、必要な改良が加えられるのかどうか、そういったことを検討していくのではないかと考えております。

以上でございます。

○塚本崇委員長 三好義治委員。

○三好義治委員 特定事業者に対する補助金に関してはよく分かりました。また慎重に見定めながら、取り組んでいただきたい。

大型バスの関係については、現時点で、皆さん方が困っている。千里丘地区でいったら、ガンバ大阪の事例を出したり、国循の事例を出しました。近隣にエキスポシティもでき、モノレールを利用すれば非常に利便性が高いところです。そういったことも考えると、あそこに進入路を確保する。道路を拡幅していきますといっても、ターンスペースを設ける必要はないと思うん

です。千里丘線からずどんと来て、国循に抜けてから産業道路に出てくるような感じでもいいし、それから豊中岸辺線に乗っていてもいい。

今、道路計画というのが組めない状態だけど、地区指定みたいな感じなら、将来的な青写真は並行しながらでも書いたほうがいいと思います。

そういったことで、将来に憂いを残さんように、計画をぜひとも再考できるんやったら、検討し直していただきたい。この時点で無理にでも、市民の足の確保とか利便性の確保という中で検討いただくことを要望し、質問を終わります。

以上です。

○塚本崇委員長 弘副委員長。

○弘豊委員 私からも数点、お聞きします。

一つは、千里丘西地区に関わってです。令和6年度の事業、また工事の見通しや進捗について、先ほど来から議論があったわけでございます。

3年後の完成に向けて事業を進めていく中で、気になっていることの一つに、千里丘地域全体のまち並みとか、駅の利用に関わっての部分とかも一定、同時に考えておく必要があると思っています。

タワーマンションができて商業施設があり、駅に連なる自由通路も一定、リニューアルを考えていると聞いています。駅自体、今でも随分と吹田市、茨木市からの人の流れで乗降客、朝のラッシュ時は本当に引っぱりなしに人で埋め尽されています。そのところが例えば、茨木市や高槻市みたいに急行が止まる駅に今後なっていく見通しがあるのか。

多分、ならないのかと思うんです。このままホームに人が増え続ける状況は、望ましいことなのかどうなのか。そんなことも

心配になったりするんです。

先日の文教上下水道常任委員会でも、この地域で人口が増え、子供の数の議論がありました。千里丘地域全体の魅力が向上していると部長がおっしゃっていて、健都やこの千里丘西地区だけじゃない千里丘3丁目、4丁目辺りもどンドンと古い住宅が建て替わり、集合住宅もできているのを御存じだと思ふんです。そこら辺りで千里丘のまち全体について、建築の中で議論がされているのかお聞かせ願いたい。

もう一点、連続立体交差事業の関係です。連続立体交差事業も今いろいろと御苦労されて、ここまでやってこられていると聞きました。令和6年度では仮設の駅前広場の着手に向けて御意見が出ていると聞きました。

地域の皆さんから少しお聞きした声の中に、以前は坪井の踏切のところにあったコンビニが立ち退かれ、今は更地になった。あれがなくなって、毎日、利用された方は困るとおっしゃっていたりするんです。買い物だけだったら、すぐ横にもあるんじゃないのって話をしたら、実は、ATMがなくなったので、代わりにどこかないかとおっしゃっていて、一番近いところだったらあそこかみたいなことも話の中ではしたりしているんです。

いろいろと日々の生活面でそういうものが出ている。このことをすぐにどうせえということにはならないですけども、お伝えしておきました。

駅の関係で言ったら摂津市駅の自転車駐輪場です。市営自転車駐輪場の部分は、コミプラの下、それから、駅の線路沿いのところにスペースをつくってやっています。それも工事期間はよそへ移すとお聞きはしているんです。

ただ、全体の自転車のキャパで、市営駐輪場では賄えなくて民間の駐輪場が幾つかあると思ふんです。

平日も午前中でいっぱいになって、どンドン近いところから埋まって行って、遠いところに最後、停めていく形で皆さん利用されていると思ふます。

よく聞くのが、料金や利用形態がばらばらで困る。どうにかならんのかみたいなことや、市営の駐輪場がもっとできないのかみたいなこともよく言われます。今回、工事の期間に移される駐輪場に関わって、どんな形態になるのか。

それも含め、周りの駐輪場との兼ね合いなのか、この所管だけではないと思っているんです。どのようにお考えなのかお聞かせいただきたい。

以上です。

○塚本崇委員長 杉山課長。

○杉山都市計画課長 それでは、千里丘駅西地区再開発事業についての御質問にお答えいたします。

地域全体を見てどういう考えかというお問いだったかと思ふます。

今回の千里丘駅西地区の再開発事業に併せましては、委員が御指摘のとおり駅舎の通路の美装化ですとかフォルテ摂津につながる通路の屋根の修繕とか、そういったことも併せて、ハード整備面は千里丘駅西地区だけに限らず実施できるところは実施していこうということで、関係課と連携して取り組んでおります。

地域全体に再開発事業の影響は及んでいると思ふますので、そういったところで民間の開発は行われているものだと思います。

一方で、ソフト面についてでございます。これまでの答弁でも申し上げてたかと

思いますけれども、ハード整備が完了したからそれで終わりだということではなくて、その後の取組が重要だと、これまでも私から申し上げてきたかと思えます。そういった意味でエリアマネジメントといったものが今後、重要になると考えております。千里丘駅西地区に限らずフォルテ摂津がある東口側ですとかことぶき商店街、それから健都とも連携した、そういった地域全体に広がっていくような取組を実施していきたいと考えております。特定建築者が決まってから、そうした検討も進めておるところでございます。

千里丘駅西地区での再開発が起爆剤となって周辺に広がるようなにぎわい、そういったものが生まれるように取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

○塚本崇委員長 藤井課長。

○藤井連続立体交差推進課長 それでは、連続立体交差事業に関する御質問に答弁申し上げます。

駐輪場の工事のときに使用する駐輪場と近隣との兼ね合いというところがございます。

基本的には、駅沿いの駐輪場につきましては、ファミリーマートからちょっと奥に行ったところの残地を借地しているところを活用して、そちらに移転する予定でございます。

千里丘三島線の踏切沿いの手前、こちらから行って左側にある駐輪場につきましては、反対側のコインパーキングをお借りしているところの道路の付替えをします。その残地部分に駐輪場を移設する予定にしております。基本的には工事で支障が出る場所につきましては、担当課としっかり協議しながら、移転というところで

考えてございます。

近隣との兼ね合いでございます。こちらのほうも我々担当課と一緒に協議しておりますが、近隣の状況を見ながら、かなり料金のばらつきがあるとか、近場から埋まっていくというような状況を確認しております。決して満杯というような状況でもないのかというところも感じますので、その辺りをしっかり担当課と協議しながら工事中に支障が出る駐輪場について検討を進めていきたいと思っております。

以上でございます。

○塚本崇委員長 弘副委員長。

○弘豊委員 ありがとうございます。

駐輪場は、今、道路交通課が所管と思うんです。そこもしっかり協議をしながら、市民の皆さんから出されている声に対して、最初、駅を造った時の見通しよりも多くの利用があると思っています。周辺の景色も変わってきている部分もあるかと思えます。そのところはしっかりと対応していただきたい。

あと千里丘西地区です。開発事業自体は、民間にやっていってもらっているわけです。市民の声をまちづくりの中に、まちづくり協議会というか、市民の自主的な動きが出てきていると思うんです。

そういったところもしっかり行政が連携を取って、今、地域的にどういったものが求められているのか。この間、代表質問でも子育てのためのいろいろな社会的な施策というか施設が要るといわれていたり、介護などの関係でもいろいろと必要なものは出てくると思うんです。

千里丘駅西地区の中だけにとらわれない、千里丘駅東口のフォルテ摂津の活用もそうだし、旧三宅小学校跡地とか、千里丘の周辺全体を考えた取組はこれから千里



丘駅西地区の完成までにやるとやらんとでは、大きな差が出てくると思います。

先日、千里丘駅西口の工事現場を見たとき、摂津市と茨木市の境のところくらいにいらっしゃる方が、話しかけてこられ、この工事のこととか市域を超えると全然、情報が入ってこないとおっしゃっていました。

ホームページとか主体的にいろいろと探っていったらそういう情報も取れるとは思いますが、知らない間にじゃないですけど、ふだんからそこを通っているから日々変化している様子は分かると思うんです。出来上がってからはいろいろ利用されると思うんですけども、何かあそこに住んでいらっしゃる人、ふだんから駅を利用されている人たちの声、ニーズとかも拾っていく仕掛けもあつたら、もっと魅力が高まると思います。

今の時点でもいろいろな期待はたくさんお持ちの方もいらっしゃると聞いています。中にはどうなんかみたいなことを思っただけの方もいらっしゃると思います。情報発信、南野委員の質問の中でもいろいろとされていることはもちろん理解もしています。寄り一層、今後の開発だけじゃない、まちづくりに活かしていけるものにもなればと要望として終わっておきます。

以上です。

○塚本崇委員長 以上で、質疑を終わります。

暫時休憩とします。

(午前11時6分 休憩)

(午前11時8分 再開)

○塚本崇委員長 再開します。

討論に入ります。

(「なし」と呼ぶ者あり)

以上で、討論を終わり、採決に入ります。議案第1号所管分について、可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手する者あり)

○塚本崇委員長 全員賛成。

よって、本件は可決すべきものと決定いたしました。

議案第9号所管分について可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手する者あり)

○塚本崇委員長 全員賛成。

よって、本件は可決すべきものと決定いたしました。

これで本委員会を閉会いたします。

(午前11時8分 閉会)

委員会条例第29条第1項の規定により、署名する。

駅前等再開発特別委員長 塚本 崇

駅前等再開発特別委員 三好 義治